

いなみ野の風

特定医療法人社団仙齡会いなみ野病院
住 所 加古川市平岡町土山423-2
TEL 078-941-1730
FAX 078-941-1734

ホームページアドレス <http://inamino-hp.senreikai.org>
メールアドレス inamino@senreikai.org

いなみ野病院 院内・院外広報誌

編集：いなみ野病院 I M 広報委員会

「いなみ野病院の 役割について」

いなみ野病院 院長 嘉悦 博



報道などをご承知のように、昨今は急速に病院を取り巻く環境が悪化しています。20年前には1万以上あった病院数が、今では2000も減少しています。最も大きな要因は、医療費増大の抑制のため、厚労省が急性期病院から介護施設にシフトさせようとしているためです。

いなみ野病院は、慢性期病院（療養型）に属しますが、実情は同じです。介護費の抑制政策も同時に進められており、当院には介護保険を使用している病棟が170床あります。その病棟運営も急性期病院と同じように、経営が苦しくなっています。

地域包括ケアシステムのなかでの、当院の役割については左記の3点を主なものとしています。

- (1) 急性期、回復期病院からの患者さんを加療し、在宅をめざす。
- (2) 在宅（施設）よりの患者さんが、発熱などを生じた際の入院先として利用していただく。
- (3) 医療必要度が高く、長期にわたる入院が必要な患者さんの入院をささえる。

当院は、地域の医療と介護のシステムの中では、当然必要とされるこれら(1)から(3)の分野を受け持つて運営してまいりました。患者さんは、加古川市を中心とした地域

特定医療法人社団仙齡会 いなみ野病院

基本理念

当院は、患者さんを尊重し、患者さんから信頼される安全で質の高い医療を提供することによって、地域の高齢者医療の向上に努めていきます

基本方針

- 1) 時代の進歩に即応した質の高い安全な医療を提供するために、日々研鑽と努力を重ねます
- 2) 高齢化社会のニーズに応じ、患者さんと家族の納得する、医療・療養・介護サービスを行います
- 3) 認知症疾患の医療・介護の充実をはかり、地域の高齢者医療・福祉に貢献します

の幅広い病院、施設在宅から御紹介いただいています。また、高度医療のため転院をお願いする医療機関、病状安定に伴って紹介させていただく施設、在宅訪問などをお願いする先生方には、非常にお世話になっていきます。

平成29年4月から平成30年1月までの実績では、合計の入院患者数243名、他病院への転院29名、施設に入院42名、在宅復帰23名と、いずれも前年度の数字を上回っておりますが、これもひとえに皆様のおかげと感謝いたしております。

冒頭に保険診療の中での難しさを申しましたが、毎日医療、介護



を必要としている方々に接していただきますので、やりがいのある仕事だと自負しており、診療と経営内容のたえまな改善によって維持していきたいと考えています。

良質な慢性期医療がなければ日本の医療はなりたたないとの、日本慢性医療協会のキャッチフレーズを励みに頑張っておりますので、宜しくお願い申し上げます。

2分間スピーチ

7月

南館1階 砂川 惠望

昨年のお話です。母親が心不全のためカテ術後に緊急入院することになりました。無事に処置も終わりました。入院説明や書類の記入が終わったのは16時過ぎでした。ベッドサイドで母親に付き添っていると、カーテンの向こうで看護師の夜勤帯への申送りが始まりました。すると、「やっぱりこんな時間に緊急入院あると

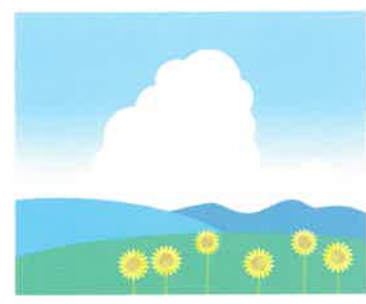


終わらんわ。この忙しいのにちょっと考えてもらわんと。何でなん！」と言う声が聞こえてきました。話の流れや内容から母親のことだと思えます。別に母親の事を悪く言われたわけでもありませんし、帰り際の緊急入院が大変なこともよくわかっていきます。でも、その時はその話に居心地の悪さと腹立たしさを感じました。

今回「患者の家族」という立場に立ってみて、医療者側が問題ないと思って発した一言が患者さんやご家族を不快にさせることがあるという事を考えるいい機会になりました。私も仕事をやる中で、同僚に愚痴を言ったり、患者さんのことを話題にすることがあります。大切な家族が入院しているという非日常な状態であり、不安を抱えている

8月

南館2階 藤本 綾美



中であるという事を忘れずその場にふさわしい言葉や内容なのか、それを聞いて患者さんや家族はどう思うのかを考えて過ごしていきたいと思えます。

今日は、私が祖母から成人になる私へあてた手紙についてお話をさせて頂きます。その手紙の中には「夢をふくらませ迎えた成人でも人生は甘くありません。喜怒哀楽の繰り返しです。おばあちゃんも82年の豊富な体験を積んできましたがその体験から得たものは心です。その心とは「ありが

とう」「すみません」それを忘れたら駄目ですよ。そして感謝する事も忘れないでね。その言葉がこれから長い長い人生を歩むあなたへの1番のプレゼントです。笑わないでね。」と書かれていました。この手紙は成人の時ではなく、4年前に祖母が亡くなった時の遺品整理でみつけられました。それから、辛くなつた時やイライラした時にこの手紙を読んで、感謝の気持ちを忘れてはいけないなと思ひ、気持ちを切り換えています。いつも優しく笑顔で周りを明るくしてくれた祖母の様に私も温かい心で周りの人を明るくできる様な人になりたいと思ひます。そして感謝の気持ちを忘れず、患者さんやスタッフと信頼関係を築いていければ良いなと思ひました。



娘が遊んでいる時に、自分の思うように物事が出来なかつた時などには、苛立った表情やしぐさ、マイナスな発言をする事があります。私自身が行っている様子をよくみて、言動や態度を真似している様子をみて、はっと気づかされ、反省する事がありました。

10月



リハビリ 小川 恵理子

私には4才になる娘がいます。最近では親の口ぐせや話し方、動作などをとても良くみており、真似をする事が多くなつてきています。

自分自身でも気づいていなかつた何気ない態度や表情が相手の立場に立つてみると、とても不安や不快な思いにつながるかもしれないと気づかされました。そこで医療者の接遇について調べた中に「手は安心感を与える対応という事」が書かれていました。その中には、笑顔で対応する表情や相手と視線を合わせて接する非言語的コミュニケーションの大切さが書かれていました。

また、相手に対し、わかりやすい話し方や、声の大きさ、スピードにも注意し、共感的な態度で接する事が、安心感を与える事につながると書かれていました。

病院での仕事にあたる中で、多くの方々と関わる機会が多くなります。不安な気持ちをかかえて入院して来られる患者さんやご家族の方に、「この病院にきて良かった」と思われるよう言葉使いや、表情、態度に再度気をつけて仕事に臨みたいと思ひました。

11月

本館1階 赤間 奈津希

第一印象は2秒で決まると言われています。

第一印象の中でも約80%は見た目で見まわります。残り20%は声や話し方、会話で決まります。

そのため、初めて病棟に来られた患者さんやそのご家族に「こんにちは」と挨拶をする時の表情ひとつで相手に良い印象を与えるかそうでないかが決まる事になります。

悪い印象を与える表情の例として、目つきが悪い、険しい顔をしている、目を合わせない等があります。第一印象の最初は、顔から作られることが多く、人によつては顔だけで悪い印象を持たれることもあります。

どんな顔つきであつても、「笑顔」を武器にすることで相手に良い印象を与えることが出来ます。だからといっていつもへらへらと笑っていれば良いのではなく、まじめな顔で少し口

元が笑っているくらいの顔つきが良い印象を与えるといます。

また、良い印象を与える話し方としては、「相槌」と「目を合わせる」ということがとても重要だそうです。

目をみて相槌を打ちながら話すことで「あなたの話を聞いてますよ」と伝えることが出来ます。

私自身も今までは何気なく行なつてきた挨拶や会話ですが、せっかくなら相手によい印象を持ってもらいたいです。

患者さんや面会に来られた方にとって声を掛けにくい存在になるのではなく、「あの人だったら話しかけやすいし、頼みごともしやすいな」と思ってもらえるよう、良い笑顔・良い印象を与える話し方を心掛けて行きたいと思ひます。



平成29年 クリスマス会



平成29年12月8日にクリスマス会を実施しました。午前と午後の2部構成で実施し、患者さん106名、家族様23名と多くのご参加を頂き盛大に開催することが出来ました。ありがとうございました。

午前・午後の部ともに嘉悦院長のはじめの言葉で幕を開けました。



午前の部は、ボランティアの参加ではなく南館2階の患者さんと職員による出し物でした。歌詞カードを手に皆さん大きな声で「リンゴの唄」の合唱を披露されました。一人の患者さんが、頭に貼り絵で出来たりんごの被り物をされておりとても素敵でした。合唱だけではなく、2曲目の「赤鼻のトナカイ」では音楽に合わせて、マラカスやタンバリンを上手にたたき演奏して下さりました。そして南館2階の患者さんだけではなく、他の病棟の患者さん達も手拍子して下さりとても盛り上がりました。

レクリエーション委員会の出し物として、赤鼻のトナカイの曲に合わせて大きな風船を患者さんに叩いてもらいました。風船が目の前に来ると自ら手を出され、職員にたたき返していました。色とりどりの大きな風船が会場内に舞い、賑やかな雰囲気となりました。



平成 29 年度 クリスマス会 プログラム ～午前の部～		
1. はじめの言葉		嘉悦院長
2. リンゴの唄		南館 2 階
3. 赤鼻のトナカイ		
4. 風船 そりすべり		レクリエーション委員会
5. メリークリスマス		リハビリテーション課
6. 終わりの言葉		看護部長



午後の部は、今回初めてボランティアのさざり様をお招きすることができました。さざり様は、各地でボランティア活動をされており、神戸新聞を見て当院を知りご連絡くださいました。アコースティックギターの音色と、さざり様の優しい歌声が会場に響きわたり、患者さまも手拍子をしたり、口ずさんだりと会場内はとても優しい雰囲気になりました。



平成29年度 クリスマス会 プログラム
—午後の部—

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. はじめの言葉 | 嘉悦院長 |
| 2. 銀座カンカン娘 | さざり様 |
| 3. 時の流れに身をまかせ | |
| 4. なごり雪 | |
| 5. 昂 | |
| 6. 忘れな草をあなたに | |
| 7. 見上げてごらん 夜の星を | |
| 8. 風船（ジングル・ベル） | レクリエーション委員会 |
| 9. メリークリスマス | リハビリテーション課 |
| 10. おわりの言葉 | 看護副部長 |





午前・午後ともに出演があったのが、リハビリテーション課による「メリークリスマス」です。始めにプロジェクターではツリーや雪など映され、クリスマスの雰囲気でも幕を開けました。次に何ヶ月も前から練習を重ねて完成した、ハンドベルの演奏では「星に願いを」「サンタクロースがやってくる」の2曲を演奏して下さり、ベルの音色でとても幻想的な演奏となりました。患者さんだけでなく会場にいる全ての方が聞き入っていました。最後は、リハビリテーション課全員で歌う「We wish a merry X'mas」。リハビリ職員の歌声に涙を流される患者さんもいらっしゃいました。



クリスマス会が平成29年の院内行事の締めくくりとなりましたが、楽しい時間となりました。多くの方のご参加、アンケートへのご協力ありがとうございました。今後もより楽しい院内行事を開催していきたいと思っております。ご支援・ご協力の程よろしくお願い致します。



● ● ● 編集後記 ● ● ●

今回の広報誌には毎年恒例の「クリスマス会」の記事を掲載しています。当日、ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました。特に大きな事故も無く無事終了する事ができました。

なお、本年も病院行事として5月に「病院祭」7月に「七夕会」を行いますのでよろしくお願い致します。

いなみ野病院 概要

診療科目 内科、リハビリテーション科
 病床種別 療養病床 290床
 (医療保険 2病棟 120床)
 (介護保険 3病棟 170床)

診療報酬上の施設基準

医療保険

- 療養病棟入院基本料1
- 療養病棟療養環境加算1
- 外来リハビリテーション診療料
- 患者サポート体制充実加算
- 病棟薬剤業務実施加算
- 医療安全対策加算2
- 地域連携診療計画退院時指導(Ⅱ)
- 脳血管疾患等リハビリテーション(Ⅰ)
- 運動器リハビリテーション(Ⅰ)
- 入院時食事療養(Ⅰ)
- 薬剤管理指導料
- 退院支援加算2

介護保険

- 病院療養型 I型(療養機能強化型A)
- 夜間勤務条件基準 減算型
- 職員の欠員による減算の状況 なし
- ユニットケア体制 対応不可
- 療養環境基準 基準型(2病棟)・減算型(1病棟)
- 医師の配置基準 基準
- 栄養管理の評価 栄養ケア・マネジメント体制
- 身体拘束廃止取組の有無 あり
- 特定診療費項目 薬剤管理指導
- リハビリテーション提供体制
 理学療法Ⅰ・作業療法・言語聴覚療法・その他